

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）6月分報告書

派遣先：マラヤ大学（マレーシア）

氏名：安江 詠星

こんにちはマレーシアのマラヤ大学に留学中の安江です。ついにこの留学も最終月とになってしまいました。留学の全体的な感想やまとめは帰国後の報告書に書くとして、今回は断食のラマダン明けのハリラヤというイベントやテスト休み期間中の旅行、その他の活動について書いていこうと思います。まずこの6月の前半はテスト前の休みとラマダン明けが重なり合計2週間ほどの休みがありました。予算に余裕があれば海外旅行に行けたかもしれませんが最終月ということもありかなり生活費がギリギリの状態でした。バックパック旅なら往復1万円で飛行機には乗れるのですが結局帰国後の出費を鑑みてマレーシア国内にとどまることにし、今書きながら後悔しています。普段の食費は10RM（270円）でそれなりのものを食べることはできるのですが、家賃やたまに食べるちょっと豪華な食事やタクシー代で結構お金が消えてしまうのです。

さて、先月から続く断食期間のラマダンが終わり、ハリラヤというお祝いの時期に入ります。断食終了を祝ってとにかくご飯を食べるイベントです。期間中は一般家庭からモスクまでオープンハウスといって知り合い同士が家にお邪魔してご飯を食べてお茶をするという催しが開かれます。自分も実際に友達の家で昼ご飯を食べに行ったりしました。日本のお正月と一緒にお年玉のように封筒にお金を入れて渡すといった習慣もあります。このオープンハウスですが、なんと首相官邸もやっています。首相をはじめ婦人や閣僚と握手ができ、お菓子やご飯を無料で頂けるといことなのです。曲がりなりにもマレーシアの政治を勉強している身なのでありマハティール首相といえば生きる伝説でもあり、外国人でも参加ができると聞いてKL中心部から電車で30分程の行政区エリアのプトラジャヤに向かいました。普通ハリラヤの時期は日本のお正月やお盆のように故郷に帰省することが多いらしいのですが、会場には民族関係なくかなりの人数がいました。1時間ほど列に並んでたった2秒ほどの握手でしたが「日本から来ました」と「それはようこそ」という会話だけはすることができました。日本でも93歳の最高齢の首相として話題にもなりましたが、年齢は感じさせながらも堂々とした立ち振る舞いや、何より1日中立ち続けて国民と握手をするといったまさに現在のマレーシアを象徴している人であると改めて思いました。このラマダンやハリラヤには国家から1つの小さな地域に至るまで、ムスリムを中心にコミュニティのつながりを強める力があると思えました。

当初この休み期間は特に遠出する予定はありませんでしたが、ちょうどローカルの中華系の友達が地元のジョホール・バルというマレー半島の最東部にある街に帰省するというので同行することにしました。ホームステイのプログラムでジョホールの田舎には行ったことがあったのですが街の方に行くのは初めてでした。KLから時速130キロく

らいで高速道路を走ったのち6時間ほどでジョホール・バルに到着しました。マレーシアの端っこですが第三の都市と言われているように、ショッピングモールが増えて街は発展し、中華系の屋台街があります。屋台街ではシンガポールが近いのか僕の大好きな「シンガポール式焼きそば」を発見したのでテンションが上がりました。KL-シンガポール間でも飛行機で1時間弱とかなり近い距離ですが、このジョホール・バルからは街から見えるむこう岸がシンガポール、橋さえ渡ればすぐに外国という近さです。カンボジアとベトナムを陸路で越えた時も思いましたが、島国の日本から来た身としてはすぐ近くに外国があり、ラインを越えると何もかも変わるといった感覚は興味深いものでした。滞在中はローカルのおすすめの店を回ったり中華資本で絶賛開発中の埋め立て人口島都市「フォレストシティ」に行ったりしました。学生相手にもウェルカムドリンクや丁寧に不動産の説明をしてくれました。

KI に帰ってからはローカルの知り合いに頼まれてなぜか現地の高校で日本の学校生活についてプレゼンをしたり、その知り合いが所属する別の高校の卒業生の集まりのハリラヤパーティーに参加したりとちょっと謎ですが充実した日々を送ることができました。軽い気持ちで引き受けプレゼンですが校長先生は来るわ別の大学の教授やその他大人達がいっぱい来るわ高校生はみんな英語上手いわで色々と緊張しましたが貴重な経験でした。

その後はテスト期間に入り、前セメスターと同様、持ち物制限、見回り監視員、監視カメラなどお馴染みの厳格な体勢の中行われる本番を終えました。マラヤのテストは手書きのエッセイ型が多く、事前に分文章や構成をある程度考えておかないと全く対処できないという傾向になっています。とりあえず最低限は書いたつもりなのでDでも良いので単位は欲しいところです。テスト期間を終えるとあとはお別れラッシュで最後のランチや晚餐を終え、帰国の途に着きました。

(写真：マハティール首相のオープンハウス、YouTube に一瞬だけ握手した直後のが映りました。大学内からみたKLの様子、最終日前日だったのでエモかったです。ボランティア繋がりハリラヤパーティーの様子。そしてマレーシアでの最後の食事。)



